

こどもって すごい



ながら幼稚園
子育て通信 NO. 2
2021. 10. 6

テーマ：生活の中の小さなルーティン

幼稚園の先生達は、経験を重ねていろいろな技を持っています。今回は、子どもの生活ルーティンについて聞いてみました。



1 合理的な順序を

・次は、ある教室の朝の支度のルーティンです。
帽子を脱ぐ → 水筒を外してかける → ランドセルを机におろす → ロッカーにランドセルをかける → 着替えをする
まず、帽子をとることで、水筒が外しやすくなります。ランドセルは必ず机の上に置きます。子どもが床に座ってしまうと動きが悪くなるのです。このルーティンを繰り返し丁寧に教えます。すると子どもたちはきちんとできるようになってきます。子どもの動きをよく考えた一連の流れがあります。

2 この先に楽しいことが…

・幼稚園で楽しく遊んでいても、お家の人が迎えに来て家に帰ることは、子どもたちにとってとても楽しいことです。幼稚園の生活に慣れてくると、満三歳児クラスの子どもたちは、昼寝をすることを喜ぶようになります。お昼寝が済むともうすぐ帰る時間だからです。年中の赤組さんは、先生が「お手ふきタオルをしまいなさい」と言うと、帰る時間がきたことを理解し、顔がほころびます。

たいへんですが、寝る支度ができて、歯磨きをしたら絵本を読んでもらえるなどのご褒美があっても良いのかもしれない。

3 体の感覚で覚える

・帰りの支度や給食の準備のルーティンの中に、歌や音楽を取り入れている教室もあります。聞きなれた音楽が流れると、自然に体が動き出します。

ある先生は自分の子どもが小さいとき、パジャマに着替えることを大切にされたそうです。お風呂を出たらパジャマを着て、朝起きたらパジャマを脱ぐ。それにより肌の感覚で寝る、起きるの切り替えを覚えさせたということです。

お家でもやっていることかもしれませんが、参考になれば幸いです。

